北海道地方

名前

問1　日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。 （2023年 福井県公立入試 類似）

1. 金沢市
2. 大阪市
3. 札幌市
4. 宮崎市

問2　北海道の太平洋側に位置する苫小牧市の気候の特徴について、年間を通じた気温と降水量の傾向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2023年 長野県公立入試 類似）

1. 日本の典型的な日本海側の気候を示し、冬は北西の季節風の影響で雪が多くなるため、夏よりも冬の降水量が大幅に上回る。
2. 内陸部に位置するため夏と冬の寒暖差が激しく、夏は30度を超える日が多い一方で、年間降水量は1000mmに満たない。
3. 年平均気温が8度前後で、夏（7・8月）の平均気温が20度程度と冷涼であり、冬の降水量は日本海側の都市と比較して非常に少ない。
4. 年平均気温が15度を超え、年間を通じて温暖であるが、梅雨の影響を受けにくいため、夏よりも冬の降水量が極端に多くなる。

問3　北海道の都市に見られる歴史的な遺産について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 （2021年 鳥取県公立入試 類似）

1. 小樽には、明治時代以降の開拓の拠点として、赤レンガ造りの北海道庁旧本庁舎が建てられた。
2. 函館には、戊辰戦争の最後の舞台となった、西洋式城郭の技術を用いた五稜郭が残されている。
3. 小樽には、アイヌの人々と交易を行うための拠点として、江戸時代に松前藩によって奉行所が置かれた。
4. 函館には、北前船の寄港地として栄えた当時の面影を残す石造りの倉庫群が運河沿いに並んでいる。

問4　十勝平野の畑作では、同じ土地で種類の異なる複数の作物を数年周期で順番に栽培する「輪作」が行われています。このような栽培方法をとる主な目的として、最も適切な理由を説明したものはどれですか。 （2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 特定の作物を続けて作ることで発生する連作障害を防ぎ、土壌の栄養分を維持するため。
2. 農機の稼働時間を減らすことで、大規模経営における燃料費などのコストを削減するため。
3. 年ごとの農作物の市場価格の変動に合わせて、最も収益の高い作物だけを育てるため。
4. 北海道の短い夏において、複数の作物を同時に収穫して出荷作業の効率を上げるため。

問5　北海道ニセコ町において、飲食業や宿泊業の就業者割合が主な産業の中で最も高くなっている主な理由として、適切なものを選択しなさい。 （2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 夏場に大規模な農作物の収穫体験を行うため、世界中から農家や観光客が集まり宿泊施設を長期間利用するため。
2. 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。
3. 豊かな森林資源を活かした木材加工業が発達し、それに伴う作業員の長期滞在用宿泊施設が増加しているため。
4. 年間を通じて温暖な気候を利用したリゾート開発が進み、国内外からの定住者が急増して一次産業を支えているため。

問6　北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。 （2026年 三重県公立入試 類似）

1. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。
2. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。
3. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。
4. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。

問7　1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。 （2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。
2. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。
3. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。
4. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。

問8　北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。 （2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。
2. アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。
3. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。
4. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。

問9　北海道のオホーツク海沿岸に押し寄せる流氷に関する説明として、漁業への影響という観点から最も適切な記述はどれか。 （2025年 青森県公立入試 類似）

1. 氷が海底を削ることで、コンブなどの海藻類が育ちやすい環境を作る
2. 海面を覆うことで水温の低下を防ぎ、魚の活動を活発にする
3. 寒流である親潮の流れを強め、サケやマスの回遊を妨げる
4. 氷に含まれる植物プランクトンなどの栄養分が解け出し、海を豊かにする

問10　地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。 （2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。
2. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
3. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
4. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。

問11　日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 輸出用 — 脱脂粉乳や練乳
2. 飲用 — 牛乳やコーヒー牛乳
3. 加工用 — バターやチーズ
4. 地場消費用 — ヨーグルトや生クリーム

問12　北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わされていることが特徴です。 （2018年 長野県公立入試 類似）

1. 酪農
2. 促成栽培
3. 放牧
4. 果樹農業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 札幌市	北海道に位置する札幌市は、高い緯度の影響で冬の寒さが非常に厳しく、1月の平均気温が氷点下となります。同じ日本海側に位置する金沢市などは、冬の季節風の影響で降水量（降雪量）が非常に多くなりますが、札幌市はそれらの都市と比較すると1月の降水量は少なめの数値を示す特徴があります。
問2	答え 3 年平均気温が8度前後で、夏（7・8月）の平均気温が20度程度と冷涼であり、冬の降水量は日本海側の都市と比較して非常に少ない。	苫小牧市は北海道の太平洋側に位置しており、寒流である千島海流（親潮）の影響を受けるため、夏でも平均気温が20度前後と冷涼な気候になることが大きな特徴です。また、冬は大陸からの湿った季節風が山脈によって遮られるため、金沢などの日本海側の都市に比べて降水量（降雪量）が非常に少なくなります。年間の降水量は1200mm程度であり、極端に乾燥しているわけではありませんが、冬の乾燥と夏の冷涼さが太平洋側の気候を象徴しています。
問3	答え 2 函館には、戊辰戦争の最後の舞台となった、西洋式城郭の技術を用いた五稜郭が残されている。	函館の五稜郭は、江戸時代末期に築造された星形の西洋式城郭です。1868年から始まった戊辰戦争の最終局面である箱館戦争の舞台となり、旧幕府軍が立てこもりました。選択肢にある「運河沿いの石造り倉庫群」は小樽の特徴であり、「赤レンガ庁舎」は札幌、「アイヌとの交易拠点」は主に道南の松前などが該当します。
問4	答え 1 特定の作物を続けて作ることで発生する連作障害を防ぎ、土壌の栄養分を維持するため。	同じ土地で毎年同じ作物を栽培し続けると、土壌の養分が偏ったり、病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が起こります。十勝平野では、ジャガイモ、てんさい、豆類、小麦などの異なる作物を順番に植え替える「輪作」を行うことで、土壌の肥沃さを保ち、安定した収穫量を確保する工夫がなされています。
問5	答え 2 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。	ニセコ町は世界的なスキーリゾートとして知られており、冬の時期に外国人観光客の宿泊が集中します。観光客の受け入れやサービス提供に伴い、飲食業や宿泊業の雇用が大きく創出されるため、就業者割合で最も高い割合を示すようになります。
問6	答え 2 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問7	答え 1 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	北海道全体の人口が緩やかな伸び、あるいは横ばい傾向にあるのに対し、札幌市の人口は1960年から2010年の間に約3倍以上という極めて高い伸び率を記録しています。この結果、北海道の総人口に対する札幌市の人口が占める割合は上昇し続けており、特定の都市に人口や経済機能が集中する「一極集中」という地理的特徴が顕著になっています。
問8	答え 2 アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。	北海道の多くの地名は、先住民族であるアイヌ民族の言葉に漢字を当てはめたものです。明治時代に入ると、警備と開拓を兼ねた屯田兵が各地に置かれ、石狩平野の扇状地などを中心に札幌の近代的な街づくりが進められました。江戸時代までは本格的な稲作は行われておらず、明治以降の技術改良によって北限が広がりました。
問9	答え 4 氷に含まれる植物プランクトンなどの栄養分が解け出し、海を豊かにする	流氷は、シベリアのアムール川などから流れてきた淡水が凍る過程で形成され、その中には大量の植物プランクトンや鉄分などの栄養分が含まれている。春になり流氷が解けると、これらの栄養分が一気に海中に放出され、食物連鎖の底辺を支えるプランクトンが大発生することで、豊かな漁場が形成される。
問10	答え 3 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問11	答え 3 加工用 ― バターやチーズ	北海道で生産される生乳の約84%は、バターやチーズなどの原料となる「加工用」として利用されています。これは生乳のままでは長距離輸送の間に品質が低下してしまうため、保存性を高めた乳製品に加工する必要があるからです。対して、都市に近い産地では、ほぼすべての生乳が「飲用」としてそのまま出荷される傾向にあります。
問12	答え 1 酪農	乳牛を飼育して牛乳やバター、チーズなどの原料となる生乳を生産する農業を酪農と呼びます。北海道の根釧台地は、夏に気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であるため、稲作などには向きませんが、牧草の生育に適していることから、自給的な飼料生産を伴う大規模な酪農が発達しました。